

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [13682] PFAS (有機フッ素化合物)

受託開始日

- 2024年12月16日(月)



PFAS (有機フッ素化合物)

PFAS (per- and polyfluoroalkyl substances) は、有機フッ素化合物の一種で、ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物の総称です。

PFASのうち、撥水性、撥油性、耐熱性、耐薬品性などの優れた化学特性を有するものは、撥水剤、コーティング剤、消火剤、フッ素樹脂の製造助剤などの幅広い用途で使用されてきました。難分解性であることから、高蓄積性、長距離移動性という性質があり、国内外で規制やリスク管理が取り進められています。

PFASの中でも代表的なPFOA、PFOS、PFHxSは、国際条約である「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」(POPs条約)にて規制されており、また日本においても「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」(化審法)にて第一種特定化学物質に指定され、現在では原則として製造・輸入・使用が禁止されています。

人体への影響については、さまざまな報告があるものの統一された結論に至っておらず、今後の調査や研究を進めるにおいても、血中のPFAS濃度の測定が注目されています。

本検査ではLC-MS/MS法を用いて血清または血漿中の7種類のPFAS濃度を測定します。

検査要項

項目コード	13682
検査項目名	PFAS (有機フッ素化合物) * ¹
検体量	血清 0.5mL [容器番号：01番→02番] または EDTA血漿 0.5mL [容器番号：14番→02番]
保存方法	冷蔵
検査方法	LC-MS/MS法
基準値 (参考基準値)	設定せず* ²
所要日数	不定期：月2回
検査実施料	未収載
報告下限	PFOA, PFOS, PFHxSは 0.5 ng/mL 未満 それ以外は 0.2 ng/mL 未満
報告上限	9,990,000 ng/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	*1：報告成分として、PFOA, PFOS, PFHxS, PFNA, PFDA, PFUnA, N-MeFOSAAの各濃度およびPFAS4種 (PFOA, PFOS, PFHxS, PFNA)、PFAS7種の合算値を報告いたします。 *2：米国 (The National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine (The National Academies) の勧告) では、血清中のPFAS濃度が 20 ng/mL 以上の場合、PFAS曝露の低減を奨励すべきであるとされています。

参考文献

Guidance on PFAS Exposure, Testing, and Clinical Follow-Up (2022), The National Academies: doi.org/10.17226/26156

「有機フッ素化合物 (PFAS)」の評価に関する情報 (内閣府 食品安全委員会)

https://www.fsc.go.jp/osirase/pfas_health_assessment.html